

シリーズ 憲法と自衛隊 3

北朝鮮はどうして
ミサイルを打つの

憲法に自衛隊を
明記すればどうなるの

朝鮮半島の戦争危機や 改憲の問題をみんなで考えよう

日時 12月3日(日) 午後1時半

場所 東成区民センター

地下鉄千日前線・今里筋線・今里駅すぐ

トランプ大統領は日韓中各国をめぐり朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）に対する制裁と圧力強化を呼びかけました。日本では安倍首相がもろ手を挙げて賛成し、北朝鮮に対する武力行使さえ支持しそうな勢いでした。韓国・文大統領は圧力強化には合意しましたが、武力行使と戦争には絶対反対でした。中国の習主席は国連制裁履行では合意しましたが、対話による解決を主張しました。各国を一層の制裁と圧力強化でまとめ北朝鮮包囲を強化しようという思惑は失敗しました。しかし、米国は日本海に米空母3隻というかつてない戦力を集中させ、さらに原潜や爆撃機など最大限に軍事的威嚇を強めています。制裁と圧力強化、それでも北朝鮮が米に屈服しなければ武力行使では、一直線に戦争に突き進むだけです。

一方、日本では安倍首相が与党で3分の2をとって、憲法改悪への動きを強めています。与党は野党の自滅で勝っただけで、積極的に支持されたわけではありません。憲法が変えられ、安倍首相が言うように自衛隊が明文化されればどうなるのでしょうか。米が北朝鮮に戦争を仕掛けたとき、自衛隊は米軍と肩を並べて突っ込んでいくのでしょうか。また、社会保障費や医療費が大幅に切り捨てられるのに、戦争のために何百億、何千億円も使ってアメリカ製の兵器をガバガバ買うのですか。すべての人が人ごとですますことはできません。本当に戦争が起こったら日本にどれだけ被害が出るのか、北朝鮮は何をやるかわからない危険な国なのか、そもそもなぜ北朝鮮は核実験やミサイル発射をするのかなど、日頃疑問に思っていることを出し合い、議論したいと思います。ぜひご参加ください。

ライブ・イン・ピース☆9+25

TEL 090-5094-9483 <http://www.liveinpeace925.com> Email: liveinpeace_heiwa@yahoo.co.jp